

給食時間の食に関する指導展開例【栽培の背景編】

実施日 令和4年2月22日（※ふじっぴー給食実施日）

題材名 静岡県でとれた食べ物を味わおう

指導内容（本時のねらい）

地域でとれた食べ物の良さや生産者の思い、農作物の生産に関わる特徴を知り、地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重して残さず食べようとする態度を養う。

食育の視点

【食文化】 日常の食事は歴史や地域の特性と関連していることを理解する。（知識・技能）

【食文化】 地域でとれた食べ物に興味を持ち、尊重しようとする態度を養う。

（学びに向かう力・人間性等）

展開例

	主な学習活動 ☆留意点 ★評価	資料等
導入	1 今日には静岡県でとれた食べ物をたくさん使った「ふじっぴー給食」です。 ☆2月23日は語呂合わせでふじさんの日であることを説明する。	・チラシ
展開	2 今日の給食の中で「静岡県でとれた食べ物」はどれでしょうか？ ・給食の中から、静岡県でとれた食べ物を探す。 ・給食に使われている静岡県でとれた食べ物の食品名や産地を知る。（チラシに食品名を記入する。） ☆実物や地図を見せ、関心を深める。	・地図 ・地場産物の実物や写真 ・チラシ
	3 今日の一押しは今年のテーマ食品の「レタス」です。 ・「ふじっぴー給食」では静岡県内全域で多くの児童生徒が静岡県でとれたレタスを食べていることを知る。 ☆県内の児童生徒数の74%の22万人が食べていることを伝える。	・チラシ
	4 静岡県のレタスはどのように作られているのでしょうか。 ・静岡県でレタスを作っている様子を知る。 ☆動画を活用する。	・レタスの動画 県教育委員会HP「ふじっぴー給食」で検索
終末	5 なぜ静岡県ではレタス栽培がさかんに行われているのでしょうか。 ・レタス栽培がさかんになった背景を知る。 （①コメの裏作として適していた。②戦後、米軍のサラダ用野菜供給のための産地として国に指定された。③国民の洋食化が進み、レタスの需要が増えた。④レタスを運ぶ流通技術が発達した。⑤温暖な気候を生かした冬場の生産が可能⑥「うまレタ。」など高品質のレタスの生産促進） ☆パワーポイントを活用し、県内のレタス栽培の背景について説明する。	・パワーポイント（資料③）
	6 これからも、静岡県でとれた食べ物を味わって、できるだけ残さず食べましょう。 ★静岡県産の食べ物に興味を持ち、尊重して残さず食べようとする態度が養われたか。	

教科等との関連 技術・家庭（家庭分野）「日常食の調理と地域の食文化」
社会「私たちと現代社会」